

【議会報告会】

○私は他県からの転入者だが、なぜ本市の公立幼稚園では3歳児保育が実施されないのか。

⇒議員 公立幼稚園での3歳児保育の実施については委員会でも議論しており、理事者からは、高度経済成長期以来、本市の私立幼稚園では3歳児を、公立幼稚園では4、5歳児を受け入れるという役割分担が行われてきており、それが現在も続いているという説明がされているが、これについては委員間でも様々な意見がある。このままでは園児数が減少し公立幼稚園がなくなってしまうのではないかという問題もあるので、それを含めてどうすべきかという議論を現在行っている。

○公立幼稚園をなくしてしまうのではなく、今まで積み上げてきた教育内容を途切れさせることのないよう、市にも働きかけてほしい。

⇒議員 委員会でも議論の最中なので、今回いただいた意見も伝えていきたい。

○旧四郷村役場について、何億円もかけて単に復原・修理するだけでは意味がない。どういう方向で活用していくのか。

⇒議員 今までは郷土資料館として公開されていたが、そのままではいけないという意見については同感である。今後の使い道についていろいろな意見を聞いていきたい。

○笹川地区の小中学校における外国人比率は高まっており、笹川小学校の1年生では56%が外国籍児童となっているが、こうした中で正常な義務教育が実施できるのか。子育て世代もそれを危惧して笹川地区に入ってこない。教育委員会の話だけではなく、子育て世代の生の声を酌み取って、議会として市の政策が正しいのかどうかチェックしてもらいたい。

⇒議員 委員で共有し今後の議論の参考としたい。

○保育園に関係する仕事をしているが、近年は保育士の志望者も少なく、退職者が出た場合などは保育士の確保が難しい状況なので、少ない職員で対応しなければならず疲弊している。8月定例会議会の一般質問の際に、担当部長から、今後も保育園利用者は増えるのではないかと答弁もあったが、今後は少子化になっていくので、それを見据えて保育園、幼稚園、こども園をどうしていくのかという中長期的な視点で考えてほしい。また、今後も大規模な保育園を設置していく方針だということも聞くので、そうなれば、ただでさえ少ない保育士がさらに足りなくなり、運営できなくなる園も

出てくる。子ども・子育て会議等において、中長期的な視点で計画をつくり、事業者、利用者が納得できる政策を実施してほしい。

⇒議員 新しい保育園の設置等については、11月定例会月議会において理事者から示される予定と聞いているので、いただいた意見を参考にして議論していきたい。

○保育園で子育て支援を担当しているが、コロナが落ち着いた後の子育て支援センター再開時に、保護者から、長期間子供とだけで過ごしていると、疲弊しストレスがたまるとの意見があった。一所懸命子育てする保護者ほど苦しむので、そういった方の気持ちを大事にしたい。また、虐待については、通報されないように風呂場などで虐待するケースがあり、虐待をしてしまったことで今度は保護者が自己嫌悪に陥ることがあると聞く。表立って見えない虐待や保護者の苦労があるのだということを私たちは知るべきである。

⇒議員 ご意見として承る。

○高花平こども園を運営しているが、1号認定の3歳児の受け入れはなく、4、5歳児のみを受け入れている。理由を市に聞いても「こういうものだから」という答えしか返ってこないの、その部分の議論をしていただければと思う。

⇒議員 委員会でもこども園における3歳児保育について議論をしているが、理事者からも煮え切らない答えが続いている。本市の子供たちのために、どのような就学前教育・保育が必要かということについて、様々な意見を聞きながら議論していきたい。

○公立幼稚園がなくなるのではないかという危機感を感じている。公立幼稚園の園児数が少ないのは3歳児保育がないからと考える。私立園との共存という経緯はわかるが、保護者が望んでいるのは公立幼稚園での3歳児保育である。市内全園でということではなく、できる園からやってもらえれば、これから四日市で子育てをしていきたいと思っている保護者が元気づけられると思う。虐待の話もあったが、保護者はどうやって子供を育てたらいいかととても悩んでいる。公立幼稚園で3歳児保育を行うことにより、少しでも保護者の力になれるように、強くお願いしたい。

⇒議員 こども園における3歳児保育について、市はシャットアウトしているわけではなく、環境が整ったところから受け入れる予定だとしている。ただ、10年前から公立幼稚園の園児数は減り続け、就学前教育・保育の無償化によってさらに減少している中で、時代のニーズに適応していくためには、こども園化は重要な選択肢であり、そこで1号認定の3歳児を受け入れていくかどうかという点は重要な課題だと認識をしている。また、こども園設置に伴う子育て支援センターのあり方を考える重要

な時期だと考える。センターに来た人を対象としたサービスだけではなく、アウトリーチ型のサービスを検討するなど、大きな転換点だと考えているのでこども園の議論と同時に進める必要がある。